

いなわしろ

No.126

平成 24 年 5 月 10 日

発行：福島県猪苗代町議会

議会だより

あかるくお返事！
(さくらこども園入園式)

平成 24 年初議会・3 月定例会

- ◆議会新体制・・・・・・・・・・ 2～3
- ◆3 月定例会のあらまし・議案審議・・ 4～5
あなたの声を審議しました（請願）
- ◆予算委員会質疑応答・・・・・・・・ 6
- ◆一般質問 9 人が登場・・・・・・・・ 7～15
- ◆町民の声・・・・・・・・・・ 16

新体制決まる!!

初議会(3月1日) 議会の

～議員紹介～

1. 氏名
2. 行政区
3. 所属委員会・役職



1. 佐瀬 真
2. 八千代
3. 総務常任委員



1. 細貝 功人
2. 翁島駅前
3. 文教厚生常任委員



1. 佐藤 悦夫
2. 関脇
3. 文教厚生常任委員



1. 佐藤 英一郎
2. 木地小屋
3. 経済建設常任委員



1. 長澤 操
2. 沼尻駅前
3. 総務常任委員



1. 金本 久美子
2. 神明町
3. 経済建設常任委員



1. 渡辺 真一郎
2. 沼ノ倉
3. 総務副委員長



1. 五十嵐 ミエ子
2. 東館
3. 文教厚生副委員長



1. 後藤 公男
2. 荻窪
3. 経済建設委員長



1. 佐藤 光幸
2. 金曲
3. 経済建設副委員長



1. 長沼 一夫
2. 富永
3. 総務委員長



1. 山田 長平
2. 名家
3. 議会運営委員長



1. 関沢 和人
2. 夷田
3. 文教厚生委員長



1. 穴沢 進
2. 土田
3. 経済建設常任委員



1. 渡部 博幸
2. 四ツ谷
3. 副議長



1. 鈴木 武喜
2. 堤崎
3. 議長



副議長
渡部 博幸氏



議長
鈴木 武喜氏

就任あいさつ

町民の皆さまには、日ごろから町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私たちは、3月定例議会におきまして、議員各位のご推挙により議長並びに副議長に就任いたしました。

今後とも開かれた議会運営に努め、町民の皆さまの負託に応えるべく努力してまいりますので、今後とも皆さま方の更なるご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

3月1日初議会が開催され、正副議長をはじめとする議会の構成が決定しました。

正副議長の選挙は、投票により行われた結果、議長に鈴木武喜氏、副議長に渡部博幸氏が当選されました。

各常任委員会、議会運営委員会、会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員、議会選出監査委員は下記のとおりです。

議長に鈴木武喜氏
副議長に渡部博幸氏

総務常任委員会

総務・財務・企画・消防防災及び他の委員会に属さない事項を所管します。

委員長 長沼 一夫
副委員長 渡辺 真一郎
委員 佐瀬 真
委員 長澤 操
委員 山田 長平

議会運営委員会

議会の運営・議会の会則・委員会条例等議長の諮問に関する事項を所管します。

委員長 山田 長平
副委員長 佐藤 光幸
委員 長沼 一夫
委員 後藤 公男
委員 関沢 和人

経済建設常任委員会

土木・建築・上下水道・農林水産及び商工観光に関する事項を所管します。

委員長 後藤 公男
副委員長 佐藤 光幸
委員 佐藤 英一郎
委員 金本 久美子
委員 穴沢 進
委員 鈴木 武喜

文教厚生常任委員会

教育及び厚生に関する事項を所管します。

委員長 関沢 和人
副委員長 五十嵐 ミエ子
委員 細貝 功人
委員 佐藤 悦夫
委員 渡部 博幸

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員

会津若松・北会津・両沼管内の十市町村で組織する一部事務組合で老人福祉・消防の運営、更に会津全域の市町村で組織する地域振興事業を行っています。

長澤 操
渡辺 真一郎

議会選出監査委員

代表監査委員とともに町の財務について監査します。

金本 久美子

東日本大震災からの復興に向け76億円で予算成立

24年度 重点施策

【風評被害対策】 町内事業者への金融支援事業を引き続き実施するとともに、「安心・安全な町」をPRし、町の特性を生かして多彩なプログラムの提供を行いながら教育旅行の誘客等を図る。	【第6次振興計画 後期基本計画】 前期計画を踏襲し、さらに「東日本大震災からの復旧・復興」を加え、放射性物質による環境汚染対策、風評被害の払拭、災害に強いまちづくりの実現、地熱発電を主とする再生可能エネルギーの利用促進を図る。	【除 染】 「猪苗代町除染計画」を策定し、地域・農地の除染を実施する。また、食品等のスクリーニングにより食生活の安全・安心の確保に努める。
【福祉対策】 「人が輝くまちづくり」実現のため、児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉の充実を図るとともに、健康管理調査による甲状腺検査、健康診査、妊産婦の調査とパッチ式個人線量計の配布により町民の健康維持管理に努める。	【農業振興】 地域農業活性化センターの活用と、軽トラック市、学校給食への地域農産物の利用促進、児童向け料理教室、園芸用パイプハウスの貸付け事業等により食料自給率向上を目指すとともに、安心安全な農産物を供給していく。	【多機能型「道の駅」の整備】 情報発信、地場産品の販売、就労の場の確保及び地域経済の活性化、また住民の安全を守る災害対策等を目的とした「道の駅」の整備を推進する。

【生涯学習】 「スポーツ振興宣言の町」にふさわしい体育施設として全天候型陸上競技場を整備するとともに、楽天イーグルス猪苗代球場の芝生化を実施し、各種スポーツ大会や合宿の誘致により風評被害払拭を図る。さらには町民のスポーツ振興と健康増進につなげる。	【教 育】 新学習指導要綱の完全実施に伴い、「生きる力の理念を実現する学校教育」を基本目標に、「確かな学力」「外国語教育」「図書館教育」「心の教育」の充実に努める。また、川西地区認定こども園の設置場所の決定と整備基本計画を策定し、子育ての総合施設を整備する。
--	--

あらまし

平成24年第2回猪苗代町議会定例会（3月定例会）は3月12日から23日までの9日間にわたり開かれました。

町から提出された議案は、条例の一部改正9件、条例の制定2件、契約の変更1件、23年度補正予算13件、24年度予算14件、指定管理者の指定10件、固定資産評価審査委員の同意1件であり、すべて原案のとおり可決し、選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙がおこなわれ、8名の方を選出しました。

一般質問は9名の議員により行われ、町当局の考えについて質問しました。

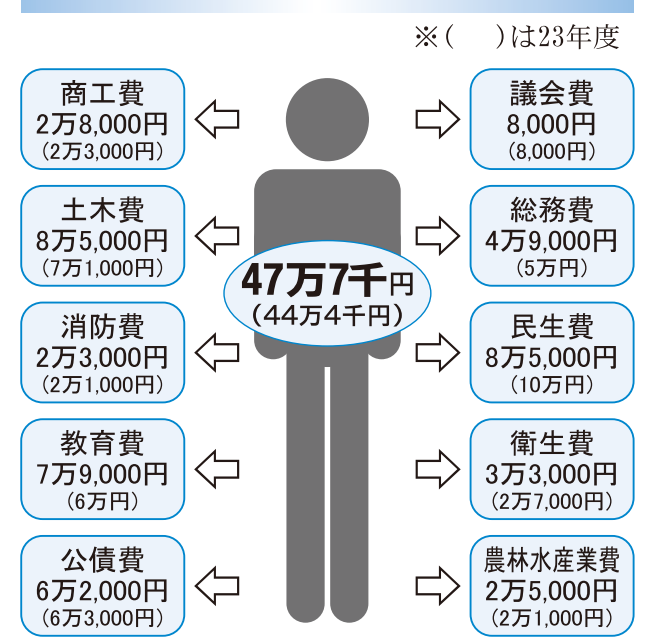
また、総務常任委員会より「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書」について委員会提出議案が提出され、討論が行われました。

【主な議案内容と可決状況】

	議 案	可決状況
23年度	一般会計補正予算(第8号)ほか12件	賛成全員
24年度 予 算	一般会計予算	賛成多数
	介護保険特別会計予算 猪苗代地区財産区特別会計予算ほか11件	賛成全員
条 例	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	賛成全員
	職員の給与に関する条例の一部改正	
	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
	集会施設条例の一部改正	
	震災復興基金条例の制定	
	税条例の一部改正	
	東日本大震災による被災者に対する町民税等の減免に関する条例の一部改正	
	介護保険財政安定化基金条例の制定	
	介護保険条例の一部改正	
	地域農業活性化センター条例の一部改正	
	町営住宅条例の一部改正	
	契約	
	金曲地区農業集落排水施設災害復旧工事請負契約の一部変更	
		賛成全員

	施設名	指定管理者	可決状況
指定管理者の指定	集会施設(明戸集会所)	明戸区長	賛成全員
	緑の村施設	振興公社	
	森林公園	振興公社	
	林業研修センター	振興公社	
	サイクルセンター	振興公社	
	農林水産物直売・食材供給施設	振興公社	
	町営牧場	振興公社	
	ふるさと交流センター	振興公社	
	総合体育館(カメリーナ)	まちづくり猪苗代	
	体育施設(各体育施設)	まちづくり猪苗代	

町民一人当たりの 主な使い



問 《介護保険条例の一部改正》 介護保険料が大幅な値上げ となっているがなぜか。	答 3年に一度、法律に基づき 行われるものである。一般の 改正も24年から26年までの被 保険者推移、サービス料の見 込み、施設建築の見込み等に ついて参酌し算出している。
問 《震災復興基金条例の制定》 災害復興基金条例で該当す る事業は。	答 消防屯所・集会所4力所、 観光地の避難表示看板等の設 置に係る工事、水防センター の駐車場設置事業、肥料等の 放射能測定事業や農作物・土 壌の放射能測定事業、観光関 係風評被害対策事業の費用、 じゃぶじゃぶ池の放射能測定 事業、小中学校の放射能測定 事業、学校給食の放射能測定 事業である。
問 《多機能型「道の駅」の整備》 情報発信、地場産品の販売、就 労の場の確保及び地域経済の活 性化、また住民の安全を守る災 害対策等を目的とした「道の駅 」の整備を推進する。	答 基金に要する財源は。 県からの震災復興交付金を 全額基金として積み立てる。 町の持ち出しはなく基金事業 として実施する。
問 《地域農業活性化センター条例》 町民農園として農地の貸出 を行うこととなっているが、 1区画の面積について条例に 明記すべきでは。	答 1区画40〜50㎡で統一した い。条例へは明記せず規則で 整理したい。
問 《指定管理者の指定》 25年度に財団法人も含めた 公益法人の制度改正による移 行があるが、振興公社は財務 内容的に支障はないのか。	答 負債を持ったままでも移行 は可能であり、公社はそれに 向けた財政再建計画を継続中 である。
問 町営牧場の指定管理の中で、 旭乳業跡地、クロスカントリー コース利用等についての協議 がされているのか。	答 旭乳業跡地は企業誘致の候 補地ということで各企業・N POからの申し入れがあるた びに、振興公社と連絡してい る。クロスカントリーコース については公社との指定管理 の中では取り決めたはないが、 今後町としては、ゴールハウ ス等の整備について検討する コース整備の在り方について は検討課題である。

あなたの声を審議しました!!

3月定例会で審議された「請願」の結果は次のとおりです。

区分	件 名	紹介議員氏名	付 託 委員会	審議結果
請願	町道役場前新町線旧々役場脇の簡易舗装に関する請願 新町イ区長 浅井 甚一郎	渡辺真一郎	経済建設	継続審査
	旧々役場跡地の整備に関する請願 新町イ区長 浅井 甚一郎	渡辺真一郎	総務	採択 (賛成全員)
	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について 日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻喜多方地区連合 議長 秋山 光晴	佐藤英一郎	総務	採択 (賛成多数) ※反対討論あり

請願

討 論

反対

渡辺 真一郎議員

赤字の企業が多数ある中で最低賃金を上げることが可能かどうか疑問である。また、最低賃金が上がれば雇用が減るとともに、企業の海外流出などの可能性もあることから反対する。

予算審査特別委員会

議長を除く15名の委員で、23年度補正予算13件、24年度予算14件を審査しました。24年度一般会計予算・介護保険予算については反対討論が行われました。

【主な質疑】

23年度補正予算

一般会計

歳入《町税》

固定資産税の滞納繰越分7千万円増額の主な内容は、

問 震災により、22年度に歳入とすべきものが被災者の納入が遅れたことが大きな要因と考えている。

たばこ税の増額理由は、

答 震災で被災された方が当町に半年ほど避難しておられ、その間に消費されたたばこによるものと考えている。

歳出《消防費》

消防総務費備品購入費647万円の内容は、

答 消防団が災害時に出動した際の連絡手段となる無線機40台と、夜間照明の投光機6台分である。無線機は各分団に6台ずつと本部に4台で、投光機は各分団1台ずつである。

24年度予算

一般会計

歳入《町税》

町民税個人分で前年対比2049万円の増額理由は、

答 所得そのものは減少していると考えているが、平成23年分の所得から扶養控除制度の見直しが行われ、低年齢者の扶養控除が廃止されたことにより相対的に税額が上昇することとなる。

歳入《固定資産税》

問 固定資産税5825万円の減額について、土地・建物・償却資産の内訳は、

答 対前年度で土地約2200万円、家屋で約1700万円、償却で800万円ほどの減額である。

歳出《衛生費》

問 保健衛生総務費負担金6286万円について、病院の旧施設使用時の赤字不採算経費負担金2900万円、運営安定基盤負担金2400万円、病院事業会計不採算経費負担314万円とあるが、この不採算について当初の契約はどうなっていたのか。

答 不採算経費については旧病院の赤字補てんが19・20・21年度の3力年分であった。赤字分については毎年分割で支払っており、24年度で20年分が満了する。19年度分は25年度に2077万円支払うようになる。基盤

安定負担金については毎年2400万円ずつ支出する予定となっている。運営安定基盤負担金はいつまで続くのか。

答 計画では指定管理が続く限り支出することとなっている。病院経営事業については特別地方交付税措置がされ、24年度で約8千万円充当しているの、運営安定基盤負担金2400万円についても財源の充当はあるものとしている。病院が損害賠償請求をされた場合の保険等の負担314万円についても病院が存続する限りは負担していくものである。

歳出《農林水産費》

問 農業振興費委託料について除染の場所・時期・方法は、

答 採草地(酪農)で基準を超えた放射性物質が検出されているのでその分である。できるだけ早い時期に着手したい。方法は、採草地に反転耕を行い、その後ロータリーで整地し、堆肥を施肥した後、播種する。さらに化成肥料を散布し浅く耕した後、最後に転圧のローラーをかけるという作業となる。

歳出《商工費》

問 緊急雇用創出基金事業費賃金5664万円について44名が雇用されるが行政効果は、

答 23件で44名である。23年度についても効果が上がっているの、24年度についても同様に考えている。

問 風評被害対策費補助金1800万円の内容について。

答 風評被害で苦しんでいる事業者の方に対する金融支援制度において上限1千万円ではあるが利子補給期間の信用保証料補給金として500万円、また復興支援イベントとして復興花火大会への補助金900万円、さらに町内でのイベントに対する補助金4000万円である。

歳出《教育費》

問 体育施設管理費工事請負費について、陸上競技場全天候型はどういったものなのか。また、河川敷であるが構築物は大丈夫なのか。

答 全天候型とは、ウレタンや合成ゴムシートにより施工するもので、当町では合成ゴムシートによる改修を考えている。河川敷であることについては、許可の手続きを進めている。既存施設の改修であり許可の見込みは立っている。日本陸連の第3種公認コースを取得することで、東北ブロック大会までの大会誘致が原則可能である。

討論 五十嵐ミエ子議員

一般会計予算

大規模な借金で施設づくりを進めるのではなく町民の強い要望である原発事故対策や子育て支援と福祉と医療の充実を進めるべきである。

介護保険予算

保険料の基準額が10%を超える大幅な値上げであり、町は国庫負担の大幅引き上げを求めるとともに、自治体として、低所得層の負担軽減や減免制度の抜本的拡充をおこなうべきである。

一般質問

長澤 操 議員

Q. 原子力損害の個別補償に関する対応は。

A. 県・他市町村と連携し、国・東京電力に対し十分に賠償されるよう強く求めて行く。

【長澤】 風評被害対策について、今年度の重点施策について伺う。

【答弁】 「安全・安心」な地域であることの情報発信するため、首都圏での物産展、観光PR等も積極的に実施するとともに、マスメディアを活用した旅行商品の造成を図る。町内においては金融支援事業を今年度も継続するとともに、復興花火大会の開催、軽トラック市、新そば祭り等のイベントを通し町内産農産物の安全性をPRしていく。風評被害対策については当初予算として3400万円ほど計上している。

【長澤】 食品検査機導入後の進展は。

【答弁】 県から2台貸与され、要望のあった方に食品等の簡易検査を行っている。今後、消費者庁からも1台貸与される予定で、春以降はさまざまな自家栽培野菜、山菜等の検査を行っていく。

【長澤】 除染の取り組み状況は。

【答弁】 昨年放射線対策の方針を定め、1月に除染計画を策定、2月に各地区行政区長会へ除染計画の説明

【長澤】 高齢者の交通費の負担軽減と利便性について伺う。

【答弁】 ダイヤ改正や停留所配置を考えるなどしているが功を奏していない。運賃も下げることができず、大変迷惑をかけている。既存の公共交通とデマンド型タクシーをうまく組み合わせながら利便を確保していきたい。

【長澤】 在宅介護者への支援策について。

【答弁】 各種介護保険サービスをご利用いただくことが在宅介護者への支援と考えている。寝たきり高齢者を介護しているご家族に対しては介護者激励金の支給と紙おむつの購入券を支給している。

【長澤】 町立猪苗代病院の運営の問題は。

【答弁】 患者対応への苦情はすぐに病院へ報告し改善をお願いしている。



食品検査機による検査（アグリいな）

管理運営会議を月1回開催し病院の問題を協議することになっている。

【長澤】 高規格老人福祉施設設置の考えは。

【答弁】 新たな設置の見込みはないが、民間活力を導入した介護付き有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の整備誘導はしている。

【その他の質問】

- ・観光産業の推進策について
- ・社会教育・学校教育について



細貝 功人 議員

Q.倒壊等の危険な状況にある家屋への対応は。

A.私有財産であり、対応に限界があるので行政が行うことは困難である。

【細貝】空き家の状況について伺う。
【答弁】防犯・防災対策に基づいて調査した経過はないが、定住化政策として平成19年度に町内行政区長に協力をいただき「空家情報」として集計回答率100%ではないが、全体では91戸である。定住化・防犯・防災にも十分役立てるよう新たな空き家状況調査については検討していきたいと考えている。

【細貝】倒壊等の危険な状況にある家屋への対応について伺う。

【答弁】原則論であるが、私有財産であり、対応に限界があるので行政がすべて行うことはかなり困難である。地域の皆様方と一緒に所有者に要請して安全な措置を取ってもらうしかない。行政も一緒になって対応していく。

高齢者の生活支援対策は

【細貝】少子高齢化が進み、老人世帯が増加しているがその対策と対応について伺う。

【答弁】高齢者のみの世帯数は、今後とも増加するものと予想している。対応として緊急通報機能を持った専用電話の貸与、除雪など屋外軽作業の援助、民生児童委員の戸別訪問に加え、安心して生活することのできる体制づくりを進めている。

第6次振興計画の中間評価について伺う

【細貝】第6次猪苗代町振興計画について、5年を経過するがその進捗状況と検証について伺う。

【答弁】23年度は前期5年の最終年度にあたることから、猪苗代町振興計



倒壊等の危険な家屋

画審議会を開催し進捗状況を含めた点検と評価を行うとともに、必要な施策を見直し、今後5年間の後期基本計画の策定を行ったところである。今後は進捗状況や検証結果を踏まえ、さらには緊急性や町の財政事情等を判断し、真に必要な施策を速やかに実施し、基本理念の達成に向け努力してまいりたい。



金本 久美子 議員

Q.再生可能エネルギーについて。

A.地熱エネルギー開発誘致活動を行いたい。

【金本】地熱発電特区構想について今後どのように進めていくのか。町としても関連の近隣町村と連携しながらさらに県の方へ働きかけて事業進捗をバックアップしてはどうか。
【答弁】昨年7月に資源エネルギー庁の政策課長がおいでになり、磐梯町・猪苗代町・北塩原村との町村長と会合した。その中で、磐梯山周辺でぜひ地熱エネルギーに取り組んで欲しいという要請があり、協議の結果受けるという返答をした。町としても様々な面で誘致していきたい。

道の駅構想について

【金本】場所を選定した後、町民の意向が十分に反映させるためにはどう具体化していくのか。既存組織にこだわらず、更に若い人達を含めた幅広い意見の集約が必要と考えるが。

【答弁】平成24年度に基本計画および基本設計等の策定を予定している。

鶴峰住宅の入居状況は

これに併せて、具体的な施設の内容や運営方法等検討する運営委員会を設置することとしている。

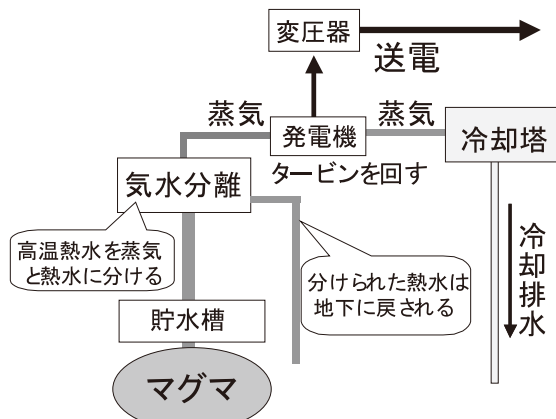
【金本】入居状況と残りの1棟の建設について伺う。

【答弁】町外からの応募はなく全て町内の15世帯の応募であった。現在4棟8世帯が入居している。残り1棟は坪単価等の指摘もあったことも含め仕様を見直しながら早急に発注したい。

子ども全員の保育環境整備は

【金本】保育を要する子ども全員の保育環境を保障し、若者の定住化、安心して暮らせるまちづくりを進めるべきである。現在6名の待機児童がいると聞いているが家庭の状況について何らかのフォローはあるのか。

また保育料の補助等の対応は。



地熱発電の仕組み

【答弁】川西こども園の開園により保育を要する子ども全員の保育環境の保障を目指している。施設には定員があり、出生は年度によって多少ばらつきはあるが、施設的设计管理運営上、面積・教員の配置から定員が決まっている。公平・平等を確保しながら対応していきたい。



渡辺 真一郎 議員

Q. 放射能汚染状況重点調査地域からの除外はなにゆえか。

A. 風評被害の拡大が懸念されるため。町主体で除染。

【渡辺】放射能汚染状況重点調査地域から除外されたのはなぜか。

【答弁】基準値を超えたのは一部地域である。町全体が指定されれば風評被害の拡大が懸念されるため指定を希望しなかった。町主体で除染する。

【渡辺】今後、セシウムの集積で放射能が高い地域が生まれ除染の費用が高んだ場合、国の支援は受けられるのか。

【答弁】除染範囲が広がり除染費用が莫大となれば、重点地域に追加指定を受け、国等から除染の支援を受けながら除染していく。

【渡辺】一般食品の放射能セシウム基準値が1kgあたり500ベクレルから100ベクレルに変更になったことで影響はあるのか。

【答弁】本町の農作物や肉牛に新基準を超える放射性セシウムは検出されていない。今後も検出の可能性は極めて低いと考える。

通学路の安全確保は

【渡辺】歩道が除雪されず、車道や除雪されない道路を通学している生徒がいるが把握しているのか。

【答弁】それぞれの道路管理者に歩道の除雪をお願いしている。歩道用4台で除雪しているが、通学前にすべて終了するのは困難である。なお、生徒にはあらかじめ指定した通学路を通るよう指導している。

【渡辺】積雪時期でないときに定期的な点検はおこなわれているのか。

【答弁】危険マップを作成し学校に掲示しているとともに、悪天候の際や長期の休み前は危険箇所点検、確認を行っている。

母から子への
手紙コンテストの今後は

【渡辺】今後も事業は継続するのか。

【答弁】今年で10回となった。本事業の意義は大きく今後も継続していく。



通学路の安全確保は

【渡辺】表彰式の講演は内容が素晴らしいが聴衆が少ない。聴衆を増やす努力はしたか。また、録画等で保存しているか。

【答弁】直接のPRは行っていない。また、映像・音声等の保存もしていない。今後は広く町民の皆さんにも聞いていただくためにも記録に残し、お知らせしていきたい。



後藤 公男 議員

Q. 24年度の町の重点施策は。

A. 「第6次振興計画実施計画」に位置付けられている事業を中心に実施していく。

【後藤】東日本大震災及び原発事故からの復旧・復興に関連した緊急的業務の内容は。

【答弁】○風評被害の払拭、合宿などの誘客、各種大会の招致を可能とするとともに「スポーツ振興宣言の町」にふさわしい体育施設整備事業、○多機能型『道の駅』整備事業、○消防施設等整備費助成事業・災害用備蓄品整備事業・水防センター駐車場整備事業・学校給食モタリング事業、○町営牧場放牧地及び採草地除染事業、○除染廃棄物の仮置き場設置などの放射線対策事業、○風評被害対策事業（物産展、旅行商品造成、復興イベント、震災特別融資信用保証料補給など）を予定している。

道の駅整備の内容は

【後藤】道の駅によって町はどのように発展する見通しか。

【答弁】従来、町民から道の駅設置についての要望があった。当町は観光地であり、旅行される方が安心して

て利用でき、きれいな便益施設をご利用いただくとともに、会津の玄関口としても情報を発信し、観光地を満喫していただく。そのようなシステムの中で、おいでいただいた方々に満足して帰っていただくという基本理念を持ちながら構想を進めていき、27年度完成に向け進んでいきたい。

【後藤】候補地として2カ所選定されているとあるが、地権者の合意は得られるのか。また資金繰りは。

【答弁】住民の方々からご意見をいただく中で、国道49号線、115号線隣接地がよいのではないかとということになった。地権者の方へは、決定もしていないので話もしていない。今後検討委員会や関係各者のご意見をいただく中で、場所が決定すれば地権者の方々の同意をいただくべく進めていきたいと考えている。資金については、土地開発公社の資金や震災の復興資金を使うなど、これから具体的に検討していきたい。



道の駅整備検討委員会

【後藤】どのような防災機能を盛り込むのか。

【答弁】防災ヘリ・ドクターヘリのヘリポートを併設したいと考えている。郡山・若松への緊急搬送等に活用するとともに、東日本大震災のような緊急時に離発着するヘリポートが必要と考える。噴火時に防波堤になると予想される高速道路の南側がよいのではないかと考えている。



佐瀬 真 議員

Q. 新エネルギーへの町の取り組みは。

A. 第6次振興計画の中で地熱発電所の誘致を目指す。

【佐瀬】地熱発電所の誘致に際しての問題点はなにか。

【答弁】問題点は初期投資コストが高いこと、自然公園法・森林法・国有林野法・温泉法等の多くの規制が関わるなど大きく2点がある。

【佐瀬】過去に地熱発電所誘致に向けて試し掘り等の調査が行われた事はあったか。

【答弁】昭和61年から63年にかけて行われ「BランクⅡやや有望な地区」との評価であった。

【佐瀬】地元の温泉組合との摩擦の少ない環境に優しいバイナリー地熱発電の導入は考えているのか。

【答弁】事業者の参入が決定していないので白紙の状況だが、より大規模の方が経済効果も大きいと思う。

【佐瀬】誤解や摩擦解消のために、地元の温泉組合等と事前に説明会、勉強会等を開く考えはあるのか。

【答弁】開発がなかった場合に逆にご迷惑をかけてしまう危惧があるが、事業自体が動く場合には説明を行っている。

【佐瀬】東京電力が持っている水利権の町への移管については、今まで困難であったが、風評被害で苦しめられている現状であるからこそ考えてみてはどうか。

【答弁】その帰属については過去に何度も検討されているが、河川法の改正もしくは東京電力が自主的に放棄しない限り現状のまま推移すると思われる。

高齢社会におけるお年寄りの健康管理はどうするか

【佐瀬】お年寄りが健康で過ごせる様に行っている事業とそれらの問題点と解決策は。

【答弁】介護予防教室・お元気クラブ、元氣ハツラツにここクラブ等を行っているが、運動の指導や支援をする人材が不足している事と気軽に集まり交流の出来る場所がない事が問題である。運動の指導や支援の人材不足に対しては外部事



沼尻温泉の源泉

業者への業務委託やボランティアスタッフの育成、場所の問題は運動が気軽に出来るサロンのような場所を数カ所所定出来ればと考えている。

【佐瀬】お年寄りが健康で自分で歩いて生きて行ける「歩ける長寿」を目指しての活動は。

【答弁】効果の認められる簡単な運動を促進して効果をあげたい。



関沢 和人 議員

Q. 東京電力福島第一原発事故による風評被害対策は。

A. 早期払拭に向け地道な努力を継続して行く。

【関沢】原発事故に伴い農業の風評被害状況と今後の対策は。

【答弁】厳しい状況の時よりも各方面の販促活動や安全性のPR等、様々な風評被害払拭活動により販売状況については徐々に回復してきている。

農地に関しては東日本大震災災害対策交付金事業等を活用した土壌改良や放射能汚染ND（測定限界値以下）に向け農地の除染等についても実施していく。

肥育農家への支援については牧草購入事業補助金の増額ならびに畜産物消費拡大事業補助金、優良仔牛を導入する和牛酪農基盤拡充対策事業補助金の活用、福島県畜産振興協会の事業も引き続き取り組んでいく。

【関沢】今後、農産物の安全安心についてはどの様に理解してもらうのか。

【答弁】安全性のPRについてはきめ細かい放射線物質の検査を行い正確な情報をいち早く内外に発信して行くと共に首都圏や姉妹都市での物産展と観光PRを積極的に行っていきます。

【関沢】農業と並んで猪苗代の基盤産業である観光業の風評被害の実態と今後の対策は。

【答弁】昨年の夏・秋の落ち込みからすると今冬季シーズンは県内高速道路無料化、「ふくしまっ子誘客事業」「県外誘客キャッシュバック事業」等の成果で落ち込みはだいぶ減っていると考えている。

全天候型の陸上競技場を整備することによって、東北大会などを誘致し、教育旅行等の交流人口の増加をはかりながら、積極的な誘客の運動をしていくことにより、風評被害が払拭されると考えている。

町の雇用対策の現状は

【答弁】役場内に設置しております「猪苗代町無料職業紹介所」ではハローワーク会津若松からの情報も含め提供していますが約2割の就職決定と厳しい状況です。これからは今まで通りの情報提供をホームページでも随時紹介すると共に担当職員のきめ細かい対応の充実とより多くの情報の発信を続けます。



「ふくしまっ子誘客事業」でスキーを楽しむ子供達

【関沢】県は福島産業復興投資促進特区を県内全域を対象に認定を目指す様だが、それを活用して積極的な企業誘致を行って行くのはどうか。

【答弁】現状は避難区域で操業をされておりました企業は県外への工場移設を検討するかすでに移設をしてしまった所も有ります。国は企業誘致推進に「福島産業復興企業立地補助金」を予算計上しました。これからはこれらの補助金を使い県内に工場等の立地をする企業も有ると考えられます。



佐藤 悦夫 議員

Q. 道の駅構想について町民意識調査は実施したのか。

A. 意識調査は実施していないが町長選において公約に掲げている。

【佐藤】道の駅構想について、必要か否かの町民の意識調査は実施したのか。

【答弁】（仮称）道の駅猪苗代の整備に関する意識調査等は特に実施していないが平成5年「道の駅」登録制度がスタートしてから当町では平成8年度に「道の駅」整備に向け調査研究を開始し、平成10年度には「猪苗代田園地域総合整備計画」を策定している。また、町長選挙では道の駅を公約に掲げており、賛意の表れと捉えている。

【佐藤】当町は道路網が多岐にわたっているが交通アクセス調査は十分に行ったのか。

【答弁】町内の主要な道路の交通量については国土交通省が行っている平成17年度の道路交通センサスを参考としている。このセンサスから磐越道で約1万3千〜1万5千台／日、国道49号線で約1万2千〜1万5千台／日となっている。

【佐藤】既存する商業施設への影響は。またヘリポート施設を併設する整合性は。長瀬川河川敷ではダメなのか。

【答弁】少なからず既存の営業施設への影響はあるものとして考えているが、考え方を転ずれば物販施設も拡充され、物販品は飛躍的に伸びると考えられる。商業者の方々には新しい製品を構築するいい機会でもある。ヘリポートについては、河川敷は許認可の関係で永久構築物は支障がある場合もあり、また洪水時には使用できないといった不利な点もある。高速道路より南側に、道の駅との併設で考えている。

【佐藤】ヘリは常駐するのか。また多数の水田をつぶすことになるがどのように考えているのか。

【答弁】ヘリの常駐は考えていない。防災ヘリ・ドクターヘリが緊急時または病院への搬送時に利用する。また面積について1haは要しない。

【佐藤】当町においても、魚類、きのこ、山菜などが採取制限を受けたが、風評というより実害ではないか。

【答弁】それらについては、実際に制限を受けており、実害と捉えることもでき、さらには4月から新基準値が適用されれば実害は拡大される。



緊急時のヘリ活動

【佐藤】高速道路無料化により国道沿いの商業者は非常に困惑しているがどのように認識しているのか。

【答弁】風評被害対策に重要な役割を果たした反面、49号国道等の交通量減少を伴い、国道沿線の事業者の皆様には風評被害に加え、顧客の流出が伴い厳しい状況にあると認識している。

ることとなる。



放射能測定器

ている。新学期から実施予定である。

すべての幼稚園で預かり保育を実施すべきでは

【五十嵐】アンケート調査を行った結果、町民の要望は預かり保育を要求する方々がほとんどであり、全ての子供達に同じく幼児教育・預かり保育を実施すべきと考えるが。

【答弁】そのような考えで進めていきたいと思うが、財源的な問題や人的確保の問題があり、これらを確保できれば対応していきたい。

五十嵐 ミエ子 議員

Q. 国保税の引き下げについて。

A. 医療費の見積りについては適正に行っている。

【五十嵐】算定の基礎となる医療費の見積りが高いのではないか。

【答弁】医療費の見積りにあたっては、過去5年間の支出実績に基づき算定しており、支出実績は横ばいから上昇気味となっているが医療費の見積りについては適正に行っている。

【五十嵐】応能の資産割と所得割について、資産割に様々な問題点があると聞いている。応能・応益が50対50の割合では高すぎるのではないか。

【答弁】昨今の農業情勢等からみて、農業所得が上がらない中で資産割の占める応能の価格は相当重いものがあるだろうと考えている。国保運営協議会においてもそのような意見も出ている。24年度の賦課についてはそのあたりも踏まえ応能・応益の見直しをしたいと考えている。

損害賠償請求の状況は

【五十嵐】JAへ委託販売していない農家や小売店等の損害賠償請求の状況

放射能対策は

【五十嵐】放射線量測定マップは町民に公表しているのか。

【答弁】家庭に配布できるような小さなマップではない。提供できないようなものがあれば提供していきたい。

【五十嵐】学校給食の食材検査は。

【答弁】食材の検査体制については、県が実施する学校給食モニタリング事業の中での検査体制を整えるということと、町が国県から貸与を受けた3台の放射能測定器を使用し、食材を検査することを予定し

町民の声



千里地区
鈴木 清孝 さん

「議員さんを招こう」

あの悪夢の大震災から早くも一年以上が経ちました。震災に遭われた多くの方々を、テレビ、新聞等での報道を見るにつけ、胸が痛みます。一日も早く普通の暮らしに戻ってほしいと願わずにはおれません。

当町にも一時的には三千名強の避難者が暮らしてしましました。それらの対応に、町当局そして各種団体、一般町民等の支援が随所に多く見受けられました。

季節の移ろいは着実に春を迎えつつあります。2月の町議選挙では新人議員四名が加わり、その戦力と布陣に期待が高まります。町議を志した初期の夢、目標を失うこと無く邁進してほ

しいと願っています。私は今こそ、町議と町民が勉強、研鑽を重ねる絶好の機会と捉え、わが町の原動力になって欲しいと思っています。

風評被害対策、ジオパーク、地熱、道の駅、医療、町振興公社、T P P等多くの課題があります。これらの課題に町民と議員の皆さんが必要に応じて、ひざを交え、協議を通して知恵を出し合い進める事が必要と考えます。それぞれの課題毎に個人、団体、各グループが最寄りの「まちの駅」「如風庵」又はそれぞれの「憩いの場所」等で協議を重ねる光景が多くみられる様になればと考えます。

昨年十月の「保科正之公生誕四百年祭」には大方の議員が講演会、交流会に参加され町民、遠来の参加者から高い評価をいただき、当事者の一人として誇らしくもありました。

この時期だからこそ「町議さん」を招こう。そして「町議会」への傍聴に足を運び、一層町政への関心を高められる年になればと願っています。

栄えある表彰

2月23日に開催されました福島県町村議会議長会定期総会において全国町村議会議長会長より在籍15年以上の町村議員として長沼一夫議員、佐藤光幸議員が表彰されました。



表彰された長沼・佐藤両議員

選挙管理委員会の委員が決まりました

選挙管理委員

小檜山憲作(本町)
渡部 幸男(西久保)
渡部 喜則(曲淵)
佐藤 太市(小田)

同補充員

鈴木 清孝(西館)
渡部 栄一(田子沼)
卯月 研造(神明町)
大泉 照勝(中ノ沢)

傍聴においで下さい

**6月議会は
6月4日(月曜日)
開会予定です。**

【一般質問は7日(木)・8日(金)の予定です】

※質問者・質問内容については6月1日以降に町のホームページ(議会事務局)に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

・役場町民ホール
・学びいな
・カメリーナ
・町立猪苗代病院
・老人福祉センター
・マルシメ
・如風庵

編集後記

議会改選後、臨時議会において議会構成も決まり、3月定例会が開催されました。

議会にも新人議員が新たに4人加わり、健全な自治体運営ができるよう議会人としての役割を果たさなければならぬと思っているところです。今議会は東日本大震災並びに原発事故による放射能や風評被害の問題等に集中しました。今年度の予算も決まり24年度がスタートしたわけですが、今後もより早く議会の動きを町民の皆さんにお知らせするとともに親しんでいただける広報誌作りに努力していきたいと思っております。

渡部 博幸

議会広報編集特別委員会

委員長	渡部 博幸
副委員長	金本 久美子
委員	佐瀬 真
委員	細貝 功人
委員	佐藤 悦夫
委員	佐藤 英一郎
委員	長澤 操
議長	鈴木 武喜